

#### 第4回小田原市市民活動推進委員会 会議録

- 1 日 時：平成28年2月16日（火）午後1：30～
- 2 場 所：おだわら市民交流センターUMECO 会議室7
- 3 出席者：前田委員長、神馬副委員長、佐伯委員、益田委員、瀬戸委員、堀池委員、山田委員、芳川委員、石川委員、山崎委員

議事に関係のある者：おだわら市民交流センターUMECO 松本センター長、椎野副センター長  
事務局：市川課長、府川副課長、村田係長、小澤主査、木村主事

- 4 欠席者：なし

5 資料：

- ・資料1 平成28年度小田原市市民活動応援補助金 第1次審査集計結果
- ・資料2 平成28年度小田原市市民活動応援補助金 第1次審査集計表
- ・資料3-1 平成28年度小田原市市民活動応援補助金 第2次審査実施要領
- ・資料3-2 平成28年度小田原市市民活動応援補助金 第2次審査採点表
- ・資料4 おだわら市民交流センターUMECO平成28年度実施予定事業
- ・資料5 市民活動団体における活動資源に関する調査（案）

※資料1から資料3-2までは非公開

6 会議内容

■ 開会あいさつ

■ 議題1「市民活動応援補助金第1次審査について」（非公開）

■ 議題2「おだわら市民交流センターUMECOについて」

委員長：それでは議事、議題2「おだわら市民交流センターUMECOについて」に入る。事務局より説明をお願いします。

事務局：本委員会においては、議事に関係のある方に出席を求め、その意見又は説明を聴くことができることから、本日は、おだわら市民交流センターUMECOの指定管理者である、松本センター長と椎野副センター長にお越しいただいている。本委員会では本市の市民活動全般の施策について、様々な観点からご意見をいただいているが、本日は、市民活動の場である市民交流センターの来年度の事業について、お二人からご説明いただき、委員の皆様にもご理解をいただきたいと思う。それでは説明をお願いします。

松本氏：最初に私から、施設の利用状況について説明する。まず、9つある会議室の利用者数であるが、12月は1,833名、1月は2,950名で、合わせて4,783名であった。会議室の稼働率は、12月が20.66、1月が35.54であった。次に、活動エリアを予約して利用した人数であるが、12月は609名、1月は1,149名で、合わせて1,758名であった。活動エリアの稼働率は12月が11.65、1月が17.31であった。この稼働率に示されるように、活動エリアは空いている時間が多くあるので、予約が入っていない時間帯は交流エリアの拡張という形で、学生の勉強などにもご利用いただいております、その場合は、交流エリアの利用人数としてカウントしている。交流エリアの利用人数は12月が903名、1月が1,044名、合わせて1,947名であった。印刷室については、12月が49名、1月が62名で、合わせて111名であった。利用人数の総計は、12月が3,394名、1月が5,205名、合わせて8,599名である。また、1月末現在の市民活動団体の登録数は291団体である。なお、団体の登録事務は施設のオープン前から行っており、オープン前日までの登録団体数は214団体であった。

椎野氏：それでは、私から資料4に基づき、平成28年度の事業について説明させていただく。まず、UMECO企画展であるが、家で言うと玄関にあたる多目的コーナーで、様々な展示を行うことにより、ガラス越しに展示を見て施設に入館して来る方が多くいるので、とても大事な事業であると感じている。オープン直後の12月からはオープニングイベントで行ったパネル展の展示、1月からはお正月をテーマに市民活動団体の協力も得て、デコパージュ

や華道、絵画の展示を行った。1月末には子どもたちの生け花の作品を飾り、2月からは雛の道中に参加して、雛飾りや団体が作った吊るし雛などを飾っている。また、団体が調べた2・26事件に関する展示も行っている。3月には市の文化政策課と協働で、若手アーティストの作品展示を実施する。4月以降は、北條五代祭りに合わせた歴史的なもの、子どもの健全育成などジャンルを絞った展示、団体からの提案を受けた展示などを予定している。

イーパーツパソコン寄贈事業は、市民活動サポートセンターでも実施していたが、年に1回、希望団体に活動で使うパソコンを寄贈する事業である。続いて相談受付では、12月に市民活動応援補助金やイベントの集客方法などに関して4件の相談があり、1月には、大井町や真鶴町の方からも市民活動に関する相談があり、件数は9件であった。

市民活動団体と事業者との協働事業では、サポートセンターのときから継続して、フレスポ小田原シティーモールと年に3回コンサートなどを行っていくのに加え、他の企業にも広げていきたいと考えている。

次にある、夏休みボランティア体験学習や高校生ボランティアエアポートも、サポートセンターで行っていた事業なので同じように実施したい。

女性団体の体験講座については、これまで女性プラザで文化祭のように実施していたということなので、市の人権・男女共同参画課と調整しながら女性団体と一緒に行う予定である。その次にある男女協働参画講座も、6月の男女共同参画週間に合わせて、市と協力して実施する予定である。

NPOマネジメント講座は、今年度も実施し大変好評であったので、来年度も同じように行いたいと考えている。事業企画・広報講座については、今年度も実施予定で、今回はパソコンの基本的な操作ができる方を対象に、情報収集やセキュリティに関する講座を行う予定である。

市民活動入門講座では、市民活動を始めるきっかけを作ってもらえるよう、多くの方に興味を持ってもらえる内容で実施することを考えている。ボランティア出前講座と、インターシップの受け入れは、要望があれば積極的に受けていくつもりである。

新春交流会は今年度も既に1月に実施し、多くの団体に参加していただいたので、来年度も同じように実施する予定である。地域活動団体ネットワーク形成事業は、サポートセンターでも実施しており、自治会と市民活動団体との連携が年々多くなってきていたのでこれからも続けていく。

UMECO祭りは、施設のオープンからちょうど一年にあたる時期に、一周年記念として盛大に行いたいと考えている。新たなつながりの創出を目的に、今年度も既に毎月実施しているティーサロンでは、お茶とお菓子を楽しみながら多くの方に交流していただいている。テーマ型交流サロンは、サポートセンター、女性プラザ、国際交流ラウンジの3施設を統合した本施設だからこそできるテーマを設定して実施する予定である。

まちづくりワークショップでは、同じ分野で活動する団体同士が情報交換をして新たな展開が生まれることを期待しており、既に複数の団体がグループになりイベントを行いたいとの相談もあったので、そういった手助けができる機会にもしたい。また、分野を超えた交流の機会も作りたいと考えている。

子育てほっとサロンも既に毎月実施しており、市内外から多くの親子にご参加いただいている。毎回アンケートをとっているので、参加者の希望を踏まえた内容で今後も実施していきたい。

最後に、情報紙「UMECOだより」についてであるが、既に2回発行しており、4月以降も隔月で年6回発行する。タイムリーな記事はもちろん、連載記事として団体同士の対談などを入れていきたいと思っている。この連載では、市民活動団体だけでなく、企業や一般市民、行政なども対象とし、新たなつながりや事業への発展を創出していきたいと

考えている。

委員 長：本来ならば、ここで意見交換の時間を設けたいところであるが時間に限りがあるので、またこのような機会があれば、そこで意見交換を行いたいと思う。委員の皆さんから何か質問があればお願いしたい。

委員：オープニングイベントで障がい者団体の方から、この施設内にあるみんなのトイレの機能について教えていただき、自分でも見て素晴らしいと感じた。ボランティア活動ができない障がい者の方でもトイレは自由に使って良いのか。

松本氏：自由に使っていただいて構わない。

委員：市の障がい福祉課は、この施設のトイレについて把握しているのか。

事務局：本施設は市の施設なので、関係部署は当然把握している。また、市民団体が、障がいを持つ方が使えるトイレのマップを作成している。

委員 長：UMECO祭りは本施設で開催するとのことであるが、これまでマロニエで開催していたサポセン祭りと同じ規模で実施できるのか。

椎野氏：オープニングイベントでの実績もあるが、できる範囲で盛大に実施したい。

### ■ 議題3「諮問事項について」

委員 長：それでは、議題3「諮問事項について」事務局から説明をお願いします。

(事務局 資料5に基づいて説明)

委員 長：ただいまの説明で質問や意見はあるか。

委員：Q18の収入内訳は、団体によって勘定科目が違い、どの科目にするか考える必要があるので団体にとっては手間になると思う。Q19の支出内訳も併せて、決算書の提出に代えても良いことにはできないか。

事務局：事務局のねらいとして、現在、どのような収入で活動を行っているか把握したいという気持ちがある。各団体の決算書では細かく読み取れない可能性がある。

委員：それが明確に分かる資料であれば良いか。

委員 長：それでは事務局に手間がかかってしまう。しかし、このままだと提出する団体が減ってしまう恐れはある。

委員：実際に書く方にとっては、面倒に感じると思う。

委員：回答率が下がってしまうのは避けたいところなので、この項目を示した上で、決算書と補足資料の提出でも良いとするのはどうか。また、平成26年度にも同じような調査をしているが、団体から別紙の提出に代えさせてほしいという話は出たか。

事務局：前回の調査はここまで細かく記載する内容ではなかったもので、そのような問い合わせは受けていない。

委員：この部分については、事務局で再度検討していただきたい。Q16で今後発信したい情報は何かという設問があるが、現在どのような情報を発信しているかという設問を加えていただきたい。それから、Q18の収入の補助金には、その名称を任意で書いていただきたい。また、収入の寄附金についても、どのように獲得できたのか任意で書いていただきたい。

委員 長：会議の時間にも限りがあるので、次回の委員会で再度議論できないか。

事務局：それでは、ほかに調査票についてご意見がある方は、2月22日(月)までに事務局へ寄せていただき、それを反映させた修正版を次回の委員会でお示しする。

### ■ その他

委員 長：その他について、事務局からお願いします。

事務局：次回以降の日程を確認する。次回は3月12日(土)午前9時20分から開催する。それ以降は、5月と6月に開催予定であるが、次回の委員会で日程調整をするので、各自予定を確認しておいていただきたい。

委員 長：以上で、第4回小田原市市民活動推進委員会を終了する。